

令和4年災 一級河川最上川水系萩生川(砂防) 災害関連事業

【概要】

はぎゅうがわ

令和4年8月の大雨により、一級河川最上川水系萩生川では、上流域での斜面崩壊に伴い大量の土砂が流出し下流へ流下したことにより、溪流保全工の護岸崩壊等の甚大な被害が発生した。

災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、災害関連事業により、砂防えん堤の改良等を行うことで土砂の補捉機能を向上させ、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

- 事業主体：山形県 もがみがわ はぎゅうがわ
- 河川名：一級河川最上川水系萩生川 いいでまち はぎゅう
- 事業箇所：山形県西置賜郡飯豊町萩生
- 事業延長：322m
- 事業期間：令和4年度～令和6年度
- 事業概要：護岸工 埋そく掘削 えん堤改良等

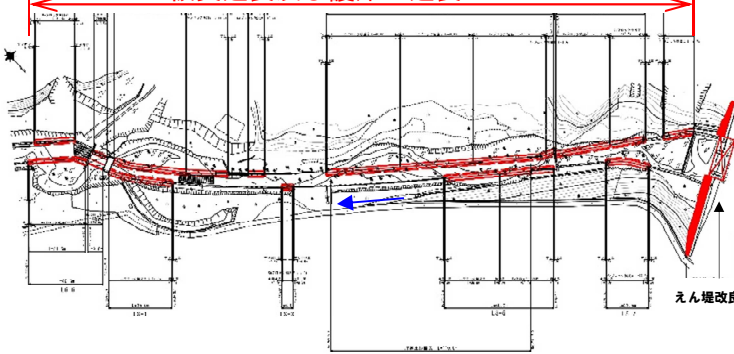
【位置図】



【全体平面図】

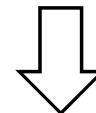
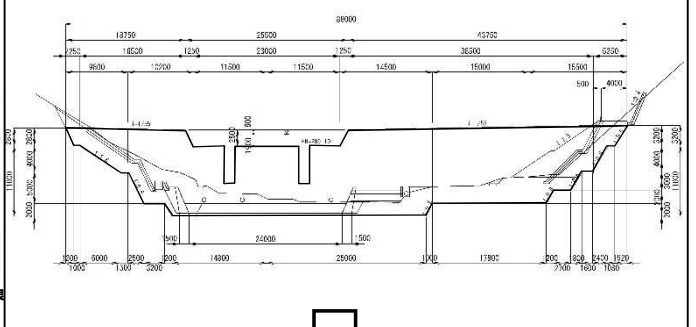
災害関連事業区間 L=322m

被災延長及び護岸工延長 L=311.5m

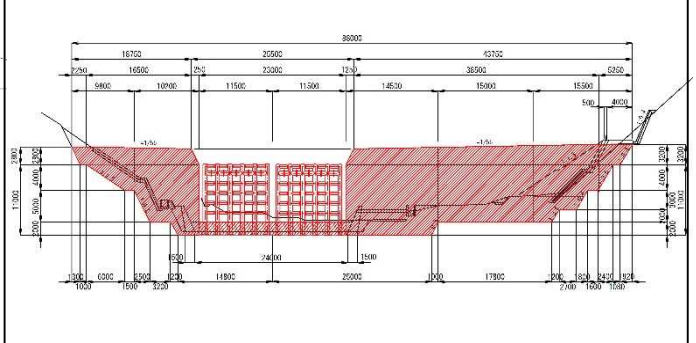


【砂防えん堤正面図】

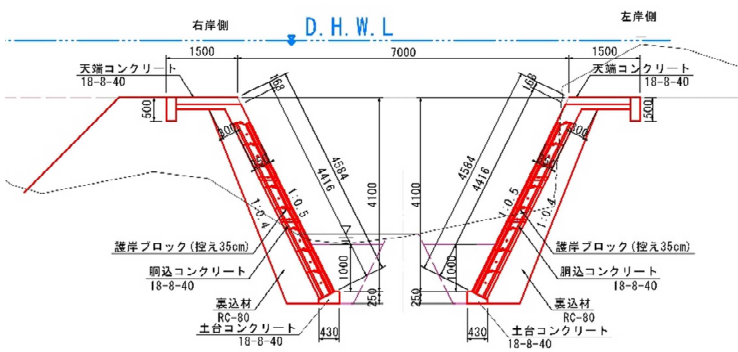
改良前



改良後



【護岸工標準断面図】



【被災状況写真】 全景



右岸被災状況



既存砂防えん堤状況

